

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

2月の活動予定

2月2日(火) 第一例会

2月14日(日) 高社山

CL:

2月21日(日) 蓼科山

CL:

2月27日(土)or28日(日) 米山

CL:

3月の活動予定

3月2日(火) 第一例会

山岳保険の申し込み

来年度の山岳保険の申し込みの時期になりました。会長が取りまとめて下さるそうです。3月3日第一例会までに申し込みください。

1月の活動報告

1月2日(土) 雪山勉強会

13:00～16:30 事務所にて

参加者:

年始講習会でさんから「雪崩とビーコン等の操作」、さんから「緊急時の対応:雪上搬送用のシート作成方法」の講習がありました。ビーコン操作の実地訓練は、雪山山行時に別途行う予定となりました。搬送用シートについては初



めての知識と言うこともあり、いくつか課題も発見できたので今後試行を重ね解決していくことになりました。また、4月初めに実施していた雪上訓練はもっと早い時期に実施したいとの意見が多くありました。ビーコン操作については山行時に都度練習し操作に慣れなければならぬと感じました。

1月17日(日) 飯縄山(一ノ鳥居から)

参加者:

天気:曇り



駒つなぎ ここから冬道

前日に降った雪は少し湿っぽかったのか木々にはたくさん雪が付き、今シーズン一番の冬景色となった。登山口には車が2台、先行者はスノーシューとつぼ足らしい。降った雪は10cmくらいか。アイゼンを着けて出発する。雪がちらつく中を登るのだろうと覚悟してきたが寒さもそれほどではない。曇り天気では

展望は望めないだろうなあ、樹林帯を抜けたら風はどうだろう・・・とまっているうちに駒つなぎに到着。ここから冬道の急登となる。ロープに助けられながらなんとか登る。雪が着いているので凍った状態より登りやすいのかもしれないが足がパンパンになる。

夏道に合流してからも、こんなに急登が続いたかなあ・・・と思うほどだ。スノーシューの下りでトレースが崩れているせいもあるかもしれない。西登山道の分岐に到着しまわりを見渡せば雲海の向こうに富士山が見える！全く期待していなかっただけに感動も大きい。風もほとんど無い。なんて良い



山頂から



日なんだろう。山頂で眺望を十分に堪能し、飯綱神社で休憩を取る。「雪が多くて入口を掘ったときがあったよね・・・」私はそんな時に登ったことは無いが、たくさん降った年はそんなになるんですね。この日出会った人は8人。それほど良い天気ではないのに、やっぱり人気の山なんだなあ。

ループ橋下P 7:00 - ノ鳥居苑地P 7:40 - 登山口
8:10 - 駒つなぎ 9:13 - 天狗の硯岩 9:45 - 西登山道分岐
10:18 - 山頂 10:50/11:00 - 飯綱神社 11:10/11:35 - 駒
つなぎ 12:05 - 登山口 12:45 - ノ鳥居苑地P 13:03

1月10日(日) 太刀岡山 鬼類山 黒富士 升形山
1295m 1516m 1633m 1650m

天気: 晴れ (低温注意報)

参加者:

上り 1152m 下り 1148m 25,473 歩

5年前、曲岳～黒富士～升形山～鬼類山 と周回したが、今日は、太刀岡山から出発し前回とは逆コースを歩く計画だ。

10日朝 4:20 粉雪で一面真っ白に凍りついている自宅を出発。長野市南部の集合場所まで行くと、雪は無く道路は乾いている。心配した高速道路は凍結していなかった。

夜が明けるにつれ、運転している小林さんには申し訳ないが、周囲の山々の美しさに目を奪われる。甲斐駒、鳳凰三



山 金峰山…思えば1月2日の黒姫が悪天中止になり、今回が今年初の会山行だ。コロナで自粛していたので景色がまぶしい。朝日の中に現れた富士山に思わず今年一年の平穏を祈ってしまった。

双葉スマートICを降り太刀岡山Pに7:40到着。1台が駐車してあった。

目の前にデンと聳える太刀岡山はクライミングでも人気の山だそうで、岩山がそそり立っている。登山口の看板に導

かれ川を渡ると民家の横からすぐに登山道の登りが始まる。頑丈な獣除けの鉄の扉を開けて中に入り、熊出没注意の看板を見ながら進む。いきなりの急登。しかも直登だ。8:12 見上げるような大きな岩場に到着。垂直に見えるこの岩にもボルトが打ってある。鉄岩はこの岩かと思いつきながら回り込んで進むと、その先に鉄岩の看板があった。鉄に見えないことも無かったが、下から見ると良く分かるという事なので、下山後のお楽しみに通過し直登を続ける。足元に気を取られていたが、立ち止まると葉を落とした林からは、周りの景色が良く見渡せた。山頂が曲がっている曲岳、その稜

線の先には金ヶ岳、茅ヶ岳と続いているのが見える。雪はどこにも無い。次はあの稜線歩きたいねと話しながら、さらにきつい急登を登り続けた。8:50 太刀岡山山頂着。ごほうびのようにくつきりと大きな富士山が見渡せた。富士山に雪が少ないのが気になる。晴れてはいるがとにかく寒い。予報は-10℃。10分休んで出発する。

登った分全部下りてしまうのか、浮石だらけの滑りやすい急坂をどンドン下る。鬼類山が木立の向うに見えてくると、越道(こえど)峠に到着。9:33。看板がありここから黒富士2時間とある。前回はここから平見城入口に下った。下には平見城畜産団地の広々した農場や養鶏場が見えた。木製の階段を上り、さらに下ると、いよいよ今日の一番の急登が始まる。前回は下りに使ったが、あまりに急で立ち止まれず、トラロープに頼って転げるように下った所だ。さてさて上りは如何に。大変だった。

登山道が乾きすぎて、土はさらさらと滑り、石ころがコロコロと転がる。トラロープに頼ると結び目が無く滑る。1時間一歩一歩登り続けると、ようやく鬼類山山頂に到着。10:37。

2019年に建てられた立派な標柱が青空に輝いて見えた。

次は黒富士。またまた下って、上って八丁峰へ。黒富士方向へと進む。冬枯れの緩い勾配の稜線を進み、最後の急登へ。

一本入れてから登る。11:44 黒富士山山頂到着。少し先に展望台の看板があり、先にそこまで行く。展望台からの眺めは素晴らしかった。真っ先に目にしたのは立派な富士山。南アルプスの山々。聖、赤石、悪沢か。間ノ岳、鳳凰三山。オベリスクも見える。そして、千丈ヶ岳、甲斐駒、鋸岳。鋸岳の手前には堂々と茅ヶ岳。いつまでも眺めていたい絶景。こうして眺めることができるのがどれほど幸せなことなのかと今回は改めて思わされた。山頂の標柱まで戻り、昼食タイム。凍えた身体に熱いお湯が嬉しかった。

12:40 出発。升形山に向かう。下って登って10分程で山頂に到着。ここからもまた絶景。期待に応えてくれて、八ヶ岳が朝雲に覆われていたのが全景を現し、新雪を纏って輝いている。目を移すと、瑞牆山、小川山、金峰山が山裾まで大きく広げて連なっている。五丈岩も見える。そして今までの黒富士と富士山のツーショット。狭い山頂ではあるが、心ゆくまで楽しんだ。

下山は八丁峠から平見城入口まで、1時間下るのみ。快適かと思いきや、殆ど使われていないようで、倒木をくぐったり、越えたり、落ち葉で埋もれてしまった登山道に足を取られたり、オーバースボンが砂ぼこりで真っ白になって、ようやく舗装道路に着いた。ここからは楽だった。駐車場近くでは鉄岩の全景が眺められた。朝も見えたはずなのに全く気付かなかった。

この日強い冬型の気圧配置が上越で187mの雪を降らせ、北陸自動車道は車1500台が立ち往生し、妙高から先は通行止めとなった。無事に帰りホッとした山行だった。



富士山と黒富士



黒富士山頂

1/10 (日) 長野 5:00=双葉スマート IC=太刀岡山登山口
P7:40-太刀岡山 8:50/9:00-越道峠 9:30-鬼類山 10:40-黒
富士 (展望台) 11:45/12:40-八丁峰東側鞍部 12:50-升形山
13:10/13:30-八丁峠 13:40-平見城入口 14:20-登山口